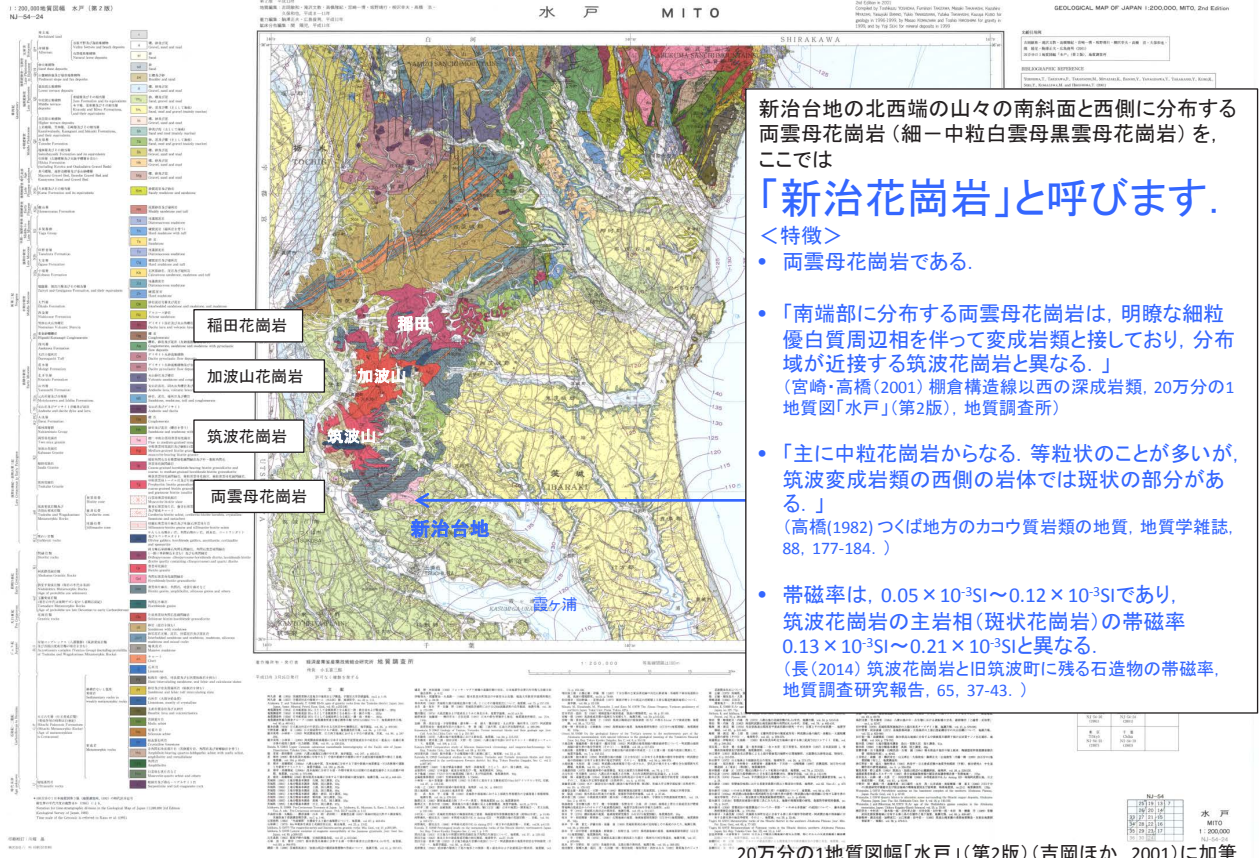


# 「新治花崗岩」と新治台地に残る石造文化財



## 「新治花崗岩」の露頭

他に、雪入ふれあいの里公園のネイチャーセンター周辺や小野の「小町の里」の奥部、など。

山ノ荘(本郷)の採石場跡



山本の採石場跡



上佐谷の諏訪神社



②上志筑の百体磨崖仏



## かすみがうら市に残る石造文化財(4例)



① 高倉の阿弥陀如来立像  
像高130cm、元亨4年(1324) 明治期まで、仏像に金箔が塗られていた。



⑤ 山本の五輪塔  
高さ240cm  
天文14年(1545)  
地輪に「奉造立逆修 大且那道志 天文十四年」と刻まれている。

④ 太子堂の五輪塔  
上佐谷、左210cm、右220cm  
慶長16年(1616)  
夫婦のものといわれ、左の地輪に「為妙深逆修口敬白 慶長十六拾月」と刻まれている。

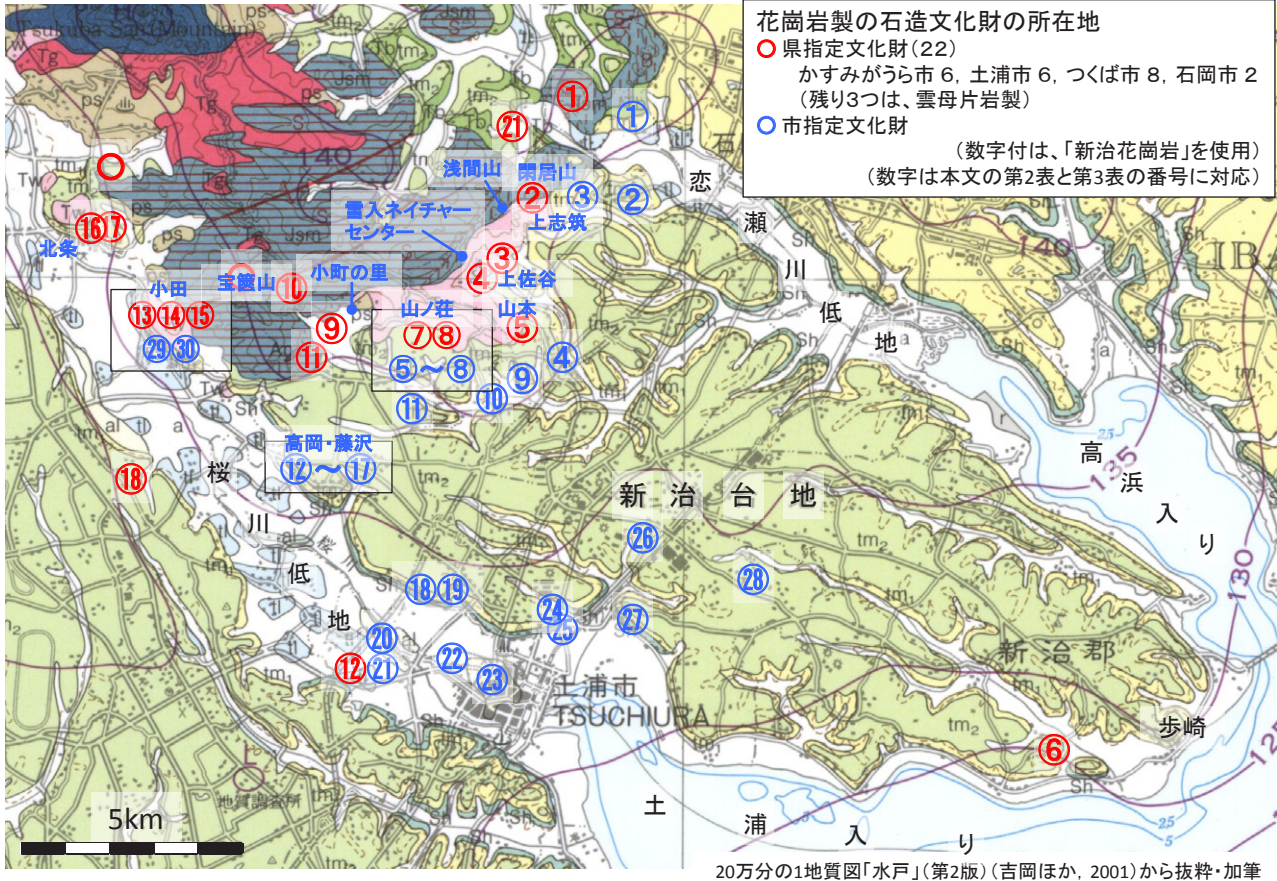


⑥ 宝昌寺の九重層塔  
牛渡、高さ350cm、室町初期(15世紀頃) 応永21年(1414)没の小田孝朝の供養塔と伝えられる。

1) 産総研 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門

Cho Akio (2015) 'Niigata granite' and stone culture properties remained in Niigata table land.

# 茨城県指定の石造文化財33の内、25が新治台地とその周辺にある。



## 土浦市に残る石造文化財(11例)



① 小高の五輪塔  
高さ364cm, 永正12年(1515)



⑩ 東城寺の六地蔵石幢  
高さ140cm, 室町後期~安土桃山



⑨ 日枝神社の石燈籠  
高さ219cm, 永正8年(1511)



⑧ 永井館址の宝篋印塔  
高さ285cm, 寛永3年(1626)



⑫ 法雲寺の宝篋印塔  
高さ148cm, 161cm, 152cm



⑪ 藤沢の庚申塔(兼道標)  
高さ132cm, 江戸時代後期



⑪ 地藏菩薩立像  
像高120cm, 江戸時代



②⑧ 地藏院の地藏菩薩立像  
像高335cm, 江戸時代



⑫ 般若寺の五輪塔  
高さ180cm  
鎌倉末



⑬ 常名  
天神山古墳の宝篋印塔  
高さ135cm  
桃山時代



②⑥ 観音寺の五重塔  
高さ288cm  
室町時代